

男性に対する乳頭縮小術の考察

新明 康宏

Yasuhiro Shinmyo

湘南美容クリニック 上野院

【背景】

女性の乳頭縮小症術に比較して男性の乳頭縮小症術は比較的少ない。一方で、デザインに関して男性特有の特殊な希望が見られることがある。今回、自験例において男性の乳頭縮小術におけるデザインの希望を含めて調査し検討した。

【対象、方法】

2014年2月から2017年9月において、当院で乳頭縮小を希望で受診された男性13人に対して後方視的に調査を行なった。乳頭の高さに関して、3段階に分類した。また手術成約率に関し女性例と比較した。

【結果】

男性の乳頭縮小希望者は高さのないフラットな乳頭を希望する率が最も高かった(54.8%)。女性手術成約率37.5%に対して男性61.5%と手術成約率は高率であった。

【結語】

男性乳頭縮小患者は高さのないフラットなデザインを高率に希望することがわかった。一方で、受診者の中には正常な形態を損なうような形態を希望することもあり、特殊な同意書の整備、慎重な対応が必要となる場合があると考えられた。